

市民楽しませる花壇に

ゆいネット盛南 市立病院西に園児植栽

盛岡市本宮の通称ゆいっこ通りの花壇で24日、園児らによる植栽活動が行われた。植栽は盛南地区の街づくりに取り組みゆいネット

盛南（泉館止彦会長）の地域貢献活動の一環。盛岡市立病院の院内保育園「すこやか保育園」（庄司恭子園長）の年少、年長の園児17人と病院職員ら8人が参加し、市民の目を楽しませる花壇に仕上げた。

ゆいネット盛南では、10年前からゆいっこ通りの600区間の花壇、同市本宮地内のゆいっこ広場に芝桜やベゴニア、キンシバイなどを植えている。このうち、同日は園児が赤や白などのベゴニアの花苗12株を丁寧に植え、じょうろで水をかけた。ゆいっこ通りへの植栽は、会員や町内会の協力で1週間ほどで作業が終わる予定。

ベゴニアを植えた栃内優輝ちゃん（5）は「お花がきれいだった。成長していっぱいお花が咲いてほしい。また見に来たい」と植栽した花が立派に育つことを願っていた。

ゆいネット盛南の藤村幸雄事務局長は「こういう形で地域の植栽などを体験したことが、大きくなつてからも心の中に残つていて、自分たちから積極的に周辺の美化活動に参加してもらえようになれば」と期待した。



ゆいっこ通りの花壇に植えた花に水をかける園児